

=市史編さん便り= 【29号】 令和4年9月6日(火) 発行.

*****土佐清水市教育委員会生涯学習課・市史編さん室

「土佐史談会・郷土歴史探訪 in 土佐清水市」

「海から読もう足摺宇和の歴史」と題して、「土佐史談会（宅間一之会長）」が、9月4・5日(日・月)の1泊2日の日程で足摺半島の松尾集落・金剛福寺・足摺岬周辺域（4日）、高知県漁協清水統括支所・竜串ビジターセンター・SATOUMI・竜串海岸等を「土佐清水ジオの会（冨田無事生会長）」の案内で巡見しました。

生涯学習課市史編さん室にも土佐史談会・宅間一之会長の依頼があり、同室田村が総合案内役として委嘱され、9月4日(日)終日、この企画に参加させていただきました。当初4日に予定していた足摺岬沖クルーズ、5日に予定していたグラスボートと海中展望塔等の乗船や巡見は残念ながら実施することができませんでした。

来年度は、台風時期ではない11～2月くらいにお越しいただき、是非海上クルーズ等を体験していただければと思います。土佐史談会と土佐清水市のつながりは、宅間一之会長を『新土佐清水市史』の編さん委員・監修として委嘱させていただき、お世話になっていることから、この企画が立ち上がりました。

これからも、市史編さん事業を通じた歴史を軸とした交流を続けていきたいと思いをします。



↑松尾地区での巡見の様子



↑155人乗りの大型バスで土佐清水市へ

【おおまかな巡見の流れ】

○松尾金毘羅宮灯明台→旦那さんの墓(角屋与三郎墓碑)→女川沿いの納屋跡
→海老ガウド→松尾天満宮→松尾地区区長場集会所(ツワ寿司等の弁当で昼食)
→金剛福寺(本堂・境内)→足摺岬灯台周辺(あしずり七不思議等)→懇親会(珉宝)

○高知県漁協清水統括支所や周辺施設→ビジターセンター見学→昼食(レストラン千竜)
→SATOUMI→竜串海岸の巡見

「令和4年度四国地方更生保護女性会員研究協議会」 にて万次郎を語る！

9月5日(月)、高知市の三翠園にて開催されている標記会において、「中浜万次郎と母のつながり」と題して、市史編さん室・田村が約1時間の講話を行いました。

「更生保護女性会」とは、日常どのような目的でどのような取り組みをされているかご存じない方もいらっしゃると思いますので、紹介させていただきます。「更生保護」とは日頃聞きなれない言葉だと思います。要は犯罪や非行から立ち直ろうとする人たちを支え、犯罪や非行を生まない地域づくりを様々な活動を通じて推進している民間の女性たちの組織です。

その活動は、更生活動(社会貢献活動・就労支援活動・保護観察処遇への協力等々)、矯正施設への支援(成人男性施設での料理教室・おふくろの味提供・少女苑での成人式での振袖の着つけ・施設出所の衣類提供等々)、犯罪非行防止活動(薬物乱用防止教室・社会を明るくする運動等々)、子育て支援活動(朝のあいさつ運動・地域の親子クリスマス会・小学校での料理教室等々)と多岐にわたります。

この講演会では、冒頭に自己紹介・「土佐清水ジオパーク推進協議会」が「日本ジオパーク」として認定されたこと・土佐清水市史編さん事業について簡潔に紹介させていただきました。その後、明治8年(1875)7月26日から8月5日までの11日間、故郷・中浜村に長男東一郎とともに万次郎が帰省していたときのエピソードを長男東一郎が記録していた『中浜東一郎日記』の文面から解説していきました。また、同『日記』の明治31年(1898)11月12日、万次郎臨終の1日についても加えてお話させていただきました。近代に記録された『日記』を基にした講演だったので、やや専門的な内容もあり、聴く側にとっては難しい内容、理解できない内容もあったとは思いますが、しかし、史実に基づいたかなり正確な万次郎や長男東一郎、母しお(志ヲ)さんの人間像を読み取ることができたのではないかと思います。これからも機会をいただける限り、郷土の先人・中浜万次郎の実像をできるだけ多くの人々にお伝えしていきたいと考えております。

【編集後記】

土佐史談会の歴史探訪で松尾地区を巡見した日の昼食には、さえずり会の下田さんたちに無理を言って「ツワ寿司」を作っていただきました。足摺半島先端部周辺では、ハガツオの酢締めを酢飯に混ぜ込み、野菜などの具材を控えめにしてツワブキの葉で型枠に入れ押し「ツワ寿司」をお祭りや行事の時によく食べていました。ツワブキの由来は、艶葉露(つやはぶき)、つまり「艶のある葉を持ったフキ」から転じたとする説があります。

潮風と日光のよく当たる海成段丘面にツワブキはよく自生しており、10～12月に黄色い花を咲かせます。この「ツワ寿司」も風土食物の一つだと思います。寿司を食べた時にほんのりと香るツワの香が酢飯と混ざり食欲をそそります。(田村公)